

8月3日のウクライナ情報

安齋育郎

●ルガンスク・ルベジノエのバイオラボ、大手製薬会社がウクライナ人を実験動物として使っていた場所(2023/01/19)

<https://youtu.be/8xGGUDZi8yY>



●ウクライナ政府、警官や軍人に生体データ提出を事実上強要＝情報筋(2023年8月1日)

ウクライナの軍事指導部は7月20日以降、オデッサ州やキエフ(キーウ)政権の統制下のザポリージャ州で、警察官や領土防衛隊員からの生体認証データの収集を活発化させている。ロシア国防関係者がウクライナ側の情報提供者の話として、スプートニクに対して明かした。

関係者によると、この措置の根拠は6月に定められた「ヒトゲノム情報の国家登録について」など2つの政令。血液検査を予め行い採取可能な量を把握するほか、生体認証データの登録が求められる。こうした措置は臓器移植の円滑化のために行われているとみられる。

政令上は隊員の「自発的な同意」が必要となっているが、事実上強制となっているという。関係者は次のように語っている。

「これは死亡したときの身元確認で必要だと説明されている。断れば解雇されるか、動員されて前線に送られる」

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は昨年、死亡した軍人の臓器を本人の同意なしに移植を認める法律に署名している。



●怒るコロンビア人傭兵(2023年8月1日)

25 人のコロンビア人が死んだ！このくそつたれは俺にスプレーをかけた！俺を犬のように扱った！俺はお前の国で負傷した！俺たちはお前たちのために戦っているのに、お前たちは俺たちをこう扱うのか！侮辱だ！だから皆去っていくんだ！

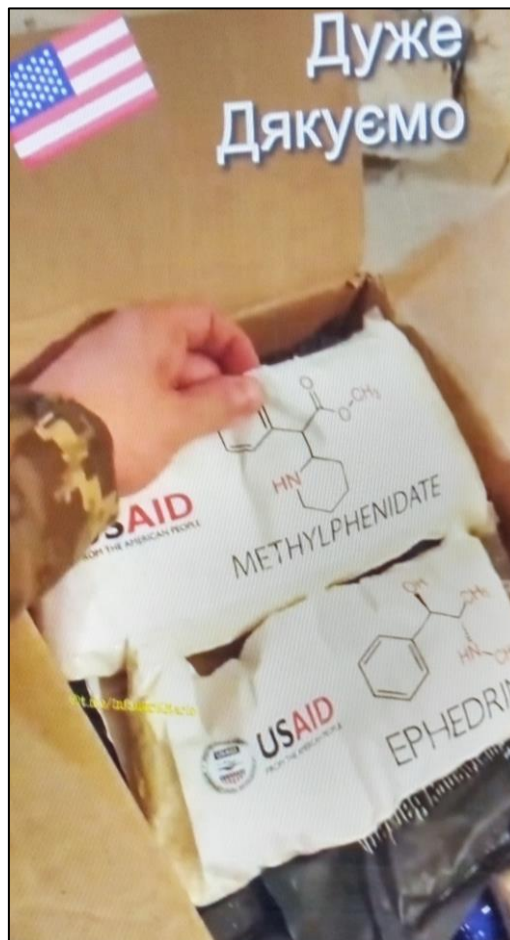
<https://twitter.com/i/status/1686186620238610432>



●アメリカからウクライナに覚せい剤のプレゼント(2023年8月1日)

日本では「覚醒剤」として知られる「メタンフェタミン」の製造に広く使われる「エフェドリン」がアメリカの援助物資としてウクライナ軍第 79 航空攻撃旅団に送られた。

<https://twitter.com/i/status/1686137410583678977>



●「独立性はどこにいったのか？」なぜ韓国、ブルガリアはウクライナ軍向け砲弾供給に同意したのか＝政治学者(2023年8月2日)

ロシア人政治学者で現代外交発展基金の副会長を務めるドミトリー・ペルリン氏はラジオ・スポーツニクに出演し、米国がウクライナ向けの 155 ミリ砲弾についてブルガリアと韓国と行っている取引についてコメントした。

フィナンシャルタイムズ紙の高官の消息筋からの情報によれば、米国はウクライナへの NATO の標準の 155 ミリ砲弾の供給についてブルガリア、韓国と取引を締結し、現在、日本とも交渉を行っている。

ペルリン氏は、この場合、「取引」とはまさに、米国の命令に他ならないとして、次のような見解を表している。

「この件に関する米国の立場は、ウクライナへの砲弾供給プロセスを速めるためというものだ。つまり、ウクライナはいわゆる『砲弾飢餓』の状態となったことを意味する。なぜ、そうなったのかと言うのは別の話だが、米国がウクライナの需要を満たせなくなったのは間違いない。だから、他の国々と取引を結んでいるわけだ。しかしどういった条件で諸国は米国の意思遂行を迫られているのか、そこが問題だ。米国は常に命令してくる。『おまえと、おまえと、おまえは弾を供給するんだぞ』と。これらの国の独立性はどこにいったのか？ これこそ、まさに一極化世界だ。これを陰謀論と呼ぶ人もいるが、実際にはその通りだ。独裁者の米国がいて、誰が何をするのか、誰に弾薬と供給して、どこで戦争をするのかを決めている」



●「プーチンは結果に高笑い」ウクライナのやらかした大失敗をインド紙が報道(2023年8月2日)

インドの英字新聞「ヒンドゥスターン・タイムズ」紙がウクライナの使用するスウェーデン製歩兵戦闘車 Stridsfordon 90(Strf 90 あるいは CV90)をロシア軍が鹵獲する瞬間をとらえた映像を公開した。動画につけられたタイトルは「プーチンは結果に高笑い。キエフが対ロシア戦でスウェーデン供与の CV90 第 1 号を失う瞬間」。

「独戦車、米装甲車の鹵獲後、ロシアはスウェーデン製としては第 1 号となる歩兵戦闘車をゲット」、ヒンドゥスターン・タイムズ紙の公開したショートビデオはこんなセリフで始まる。インド人記者らはクレ

メンナヤ近郊でのウクライナ軍の攻撃を撮影。保安林の後ろに隠れつつ、ロシア軍の攻撃を撃退しようと全速力で移動していた 2 台のスウェーデン製の Stridsfordon 90 が、撃退どころか、ロシア人が巧みに用意していた待ち伏せ場所に突っ込んでしまった。先頭を走っていた Stridsfordon 90 には 40 メートル離れた場所から敵弾発射機が発射した弾が命中し、損傷。成形炸薬は装甲を貫通し、司令官は殲滅した。煙に包まれた車両は道を外れて停止。乗員、襲撃隊員は退散した。2 台目の Stridsfordon 90 は慌てて引き返していった。

「SNS ではロシアの軍人がスウェーデンの Stridsfordon 90 の前でポーズをしている写真が公開されている」とも書かれている。専門家らは、スウェーデンの 2018 年製造の新しい歩兵戦闘車は実際に中を調べる価値があるとし、独のマルダー歩兵戦闘車とは違い、最新の電子機器が内蔵されているため、戦闘で実際的な脅威となりうると指摘している。

専門家らは、Stridsfordon 90 の中でロシアの軍部の専門家らの関心を惹くと思われるのは大砲だと指摘している。この大砲の砲撃性をコントロールしているのは車両に搭載のトリップコンピューターで、これがリアルタイムで砲撃のためのデータ処理を行っているからだ。

スプートニクは、ウクライナでの戦闘で損傷し、修理を必要とする装甲車両は増える一方で、軍備の供給国らの手にはすでに負えなくなっていると報じている。



●【解説】ロシアはウクライナ軍のスターリンク通信をジャミングできるか 専門家が語る(2023年8月1日)

ウクライナ軍に重宝されている衛星インターネット通信システム「スターリンク」。だが、ここ最近では前線の一部で使用できなくなっている事例が報告されている。この背景には何があるのだろうか。スプートニクが軍事専門家の話をもとにまとめた。

まずはスターリンクについて軽く触れておこう。スターリンクは米実業家イーロン・マスク氏の民間宇宙企業「スペース X」が運営する衛星インターネット通信システム。高度約 550 キロメートルの低軌道上を周回する約 4400 基の衛星を使い、理論上世界のどこでもインターネット通信が可能となってい

る。

ウクライナ軍は前線でスターリンクを活発に利用し、ドローンの管制にも使用している。だが、米紙「ニューヨーク・タイムズ」が伝えたところによると、マスク氏はこのごろ、クリミア半島付近でウクライナ軍がインターネット接続を求めた際には拒否している。本人はコメントしていないが、このほかにもしばしば使用制限をかけているという。

だが、ウクライナ軍が困難に直面した背景には別の理由もありそうだ。ルガンスク人民共和国軍の退役中佐、アンドレイ・マロチコ氏は、スプートニクに対し、次のように述べている。

「傍受されたウクライナ兵の通信を分析すると、ルガンスク方面でスターリンクを利用した通信に困難が生じているようだ。多くの方はロシアが電子戦装備を使用して通信を妨害したことが原因であると考えている」

ロシア国防省は、この件に関して公式のコメントは出していない。

ロシアの電子戦システム

米紙「ワシントン・ポスト」は 4 月、米国防省から流出した秘密文書をもとに、ロシアが電子戦システム「トボル」でスターリンクの通信を妨害する実験を行っていたと伝えている。それ以上の詳細には触れられていないが、ロシアは実際に衛星通信をジャミングできる兵器を保有している。

これまでに露国防関係者はスプートニクに対し、ロシアが静止軌道上(上空約 3 万 6000 キロ)にある衛星との通信を妨害する兵器を開発したと明かしている。詳細は軍事機密のため明かしていないが、「敵の電子機器を抑圧するだけでなく、永久的に無効にすることもできる」と話している。

「トボル」以外にも、ロシアは「クラスハ」、「モスクワ」、「インファウナ」、「リール」、「トライアド」といった様々な高性能電子戦システムを保有している。

軍事ポータル「ミリタリー・ロシア」の創設者で軍事アナリストのドミトリー・コルネフ氏は、スプートニクに対し、次のように話す。

「注意点は、妨害ができるのは非常に限られた範囲だということだ。それでも強力な電子戦システムであれば、数百平方キロメートルの範囲をカバーできる」

コルネフ氏は一方で、敵の通信を完全に遮断することはできず、つながりにくくすることができるだけだとも指摘している。

露軍予備役中佐で露軍事政治分析局の軍事アナリスト、パベル・カルミコフ氏は「電子戦機器は最高機密で、誰も具体的には詳細を明かさないと指摘。それでも様々な情報から判断すれば、ドンバスでスターリンクが妨害されている可能性はありうる」との考えを示している。

また、露陸軍の退役大佐の軍事アナリスト、ビクトル・リトフキン氏は、次のような意見を述べる。

「4000 基のイーロン・マスクの衛星を、全て停止させる能力を持つ電子戦システムを我々が持っているとは思えない。そもそも、本当にジャミングが必要なのか。全ては具体的な状況と軍指導部の決定によるだろう」

スターリンクを「OFF」にしたらどうなるか

仮にスターリンクが作動しなくなるとすると、ウクライナ軍には深刻な問題が発生するとコルネフ氏は指摘する。

「西側の専門家によると、現代の軍事作戦は通信に依存するところが大きい。戦車や塹壕の兵士が、自らの周りで起こっていることを把握できた時点で、任務の半分は終了しているとみなしてもいい。自分が誰に狙われているか、誰を攻撃すればいいかを考える必要はもはやない。西側の理論は戦車兵や塹壕の歩兵の一人ひとりが、通信手段を持っているという前提のもと成り立っている。これこそ、スターリンクがウクライナに提供しているものだ」

ロシア側がスターリンクの大規模なジャミングに成功すれば、ウクライナ軍にとっては「通信惨劇」となる。部隊間の連絡が途絶え、ドローンの攻撃能力も大幅に制限される。ウクライナは戦術と装備を根本的に変える必要に迫られ、時間と機動力を失うことになる」とコルネフ氏は締めくくった。



●米政権はプーチン大統領と共産主義への憎悪に駆られている＝ハーシュ氏(2023年3月13日)

ガスパイプライン「ノルドストリーム」の破壊工作についてすっぱ抜き記事を公表した調査報道記者シーモア・ハーシュ氏は、米バイデン政権は、ロシアのプーチン大統領と共産主義への憎悪に駆られているとの見解を述べた。

ハーシュ氏は、中国国営テレビ CGTN のインタビューに対し「彼ら(バイデン政権)は、特にプーチン大統領に関連するすべてのもの、そして共産主義への憎悪に駆られているだけだと思う。彼らは気が動転している。これだから愚かなことをするのだ」と述べた。

ハーシュ氏によると、米国の外交政策は「完全に馬鹿げている」という。

そして「米国の覇権という概念はもう通用しない。だからこそ、私は反対するのだ」と主張した。

2月初め、ピューリッツァー賞受賞の調査報道記者、シーモア・ハーシュ氏は、2022年9月に発生したガスパイプライン「ノルドストリーム」「ノルドストリーム 2」の爆発事件について、米国が関与したというすっぱ抜き記事を公表。ハーシュ氏は、国家安全保障チームと9カ月以上にわたって秘密裏に協議した結果、バイデン米大統領が破壊工作の決定を下したことを明らかにした。これに対し、米国防総省は、米国は何の関係もないと否定した。



●第二次世界大戦のドキュメンタリーを見るプーチン大統領と経済フォーラム参加者
(2023年6月18日)

<https://twitter.com/i/status/1670314373666209792>



プーチン大統領(3分51秒~):これがバンデラとその手下たちだ。コイツらが今やウクライナの英雄だ。

●ザハロワ報道官は、ウによるモスクワ市への攻撃の手法をアメリカ同時多発テロに
匹敵すると述べた(2023年8月1日)

「9・11 ツインタワーの犠牲者の数は膨大ですが、方法は同じです。モスクワ市はオフィスやビジネスセンターだけでなく多数の居住用アパート、軍事ブロックとは無関係の民間ブロックの管理棟もある」。



●ロシア-アフリカ首脳会議: BRICS 会議直前のプーチンの戦略について(2023年8月2日)

世界のメディアがほとんど報道しなかったが、この会議の重要性を見抜いていたのが、米国務省のビクトリア・ヌーランドかもしれない。同じタイミングでアフリカ数カ国訪問。

Twitter ではこの会議のツイートをする、コミュニティノートがついて、「アフリカ諸国の首脳級を集めた国際会議だが、43 人の首脳級が参加した4年前の会議と比べて、今回は 17 人と大幅に減った」とのメディアの指摘が出てくる。

確かに今回参加の大統領は 17 人。しかし、首相 10 人、副首相 17 人、大使レベル 5 人。そして、参加国数はアフリカ 54 カ国のうち 49 カ国。十分、盛り上がっていたように見えたが。

プーチンの演説:

ブルキナファソ、ジンバブエ、マリ、ソマリア、中央アフリカ共和国、エリトリアにそれぞれ 25~50 万トンの穀物を供給。

ロシアがアフリカ諸国に対する 230 億ドルの債務を帳消し。

開発目的のために約 9000 万ドルを提供。

貿易を自国の通貨で。

BRICS 会議の前に、アフリカの心をつかんでいる。

さらに、プーチンはこの後の BRICS 会議に出席しない。ICC 国際刑事裁判所が出したプーチン逮捕状の影響。主催国の南アフリカは ICC 加盟国なので、プーチンが入国すると ICC に協力せざるを得ない。

プーチンの次に注目されたのが、ブルキナファソ大統領、イブラヒム・トラオレ氏。30 代の大統領。彼が話し始めると、会場の全員が注目した。

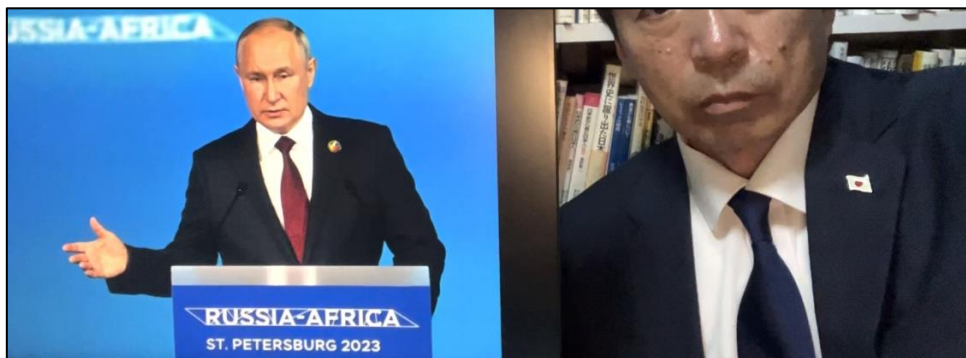
「我々アフリカの国家元首は、欧州の帝国主義者が糸を引くたびに踊る、操り人形をやめなければならない」。

「昨日、プーチン大統領はアフリカに穀物を送ると発表した。我々は非常に喜んでいる。彼に感謝する。しかし、次の会議までに、私たちは食料を自給できるようにしなければ、次回は参加してはならない」。

ところで、ビクトリア・ヌーランドは何しにアフリカに行ったのか。かつてウクライナではネオナチと組んで、暴力で親ロシア政権を転覆させた。今度はアフリカで同じことか？

南アフリカの野党、極左政党 EFF 代表が、ジュリアス・マレマ。暴力を使っても、ボーア人(白人)を殺せ！と叫んで、スタジアムを満杯にする。ヌーランドは、こういう勢力を利用するのか？

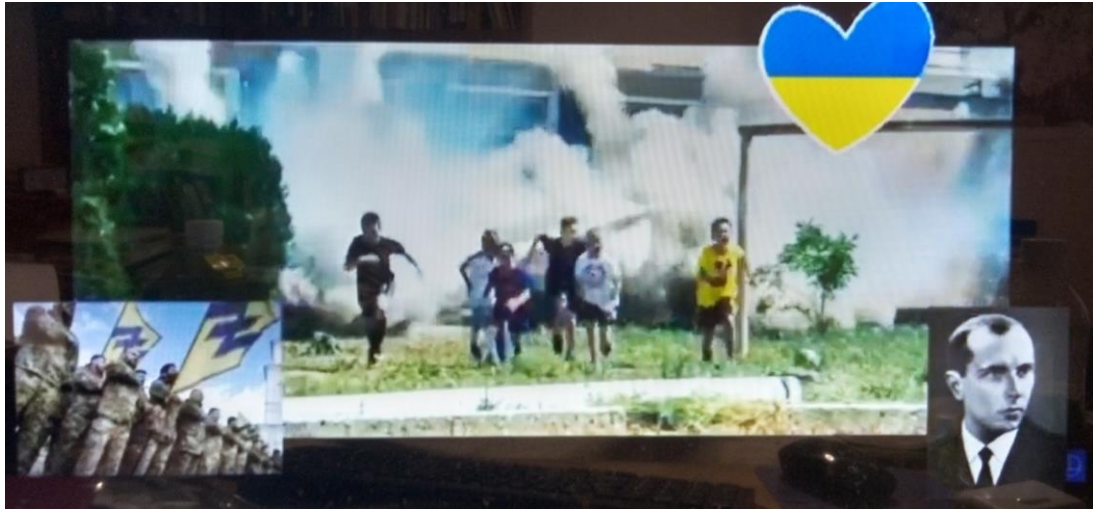
<https://youtu.be/bWkgDgIH3zk>



●ウクライナのネオナチの所行(2023年7月22日)

ウクライナのネオナチはドネツクの子供たちを殺害する様子を誇らしげにティックトックで撮影している。

<https://twitter.com/i/status/1682546609429827585>



●ロシア、ドンバス虐殺の調査終了(2023年5月20日)

ロシアがドンバスの大量虐殺に関する調査完了。ウクライナ軍とウクライナ・ナチ民兵によって 138 人の未成年含む一般市民 5000 人超を殺害。444 人の未成年含む 9528 人が重軽傷。調査期間: 2014 年~23 年 4 月下旬。個人の特定に時間を要した。女性や子供も含めロシア系住民を趣味のように殺害。

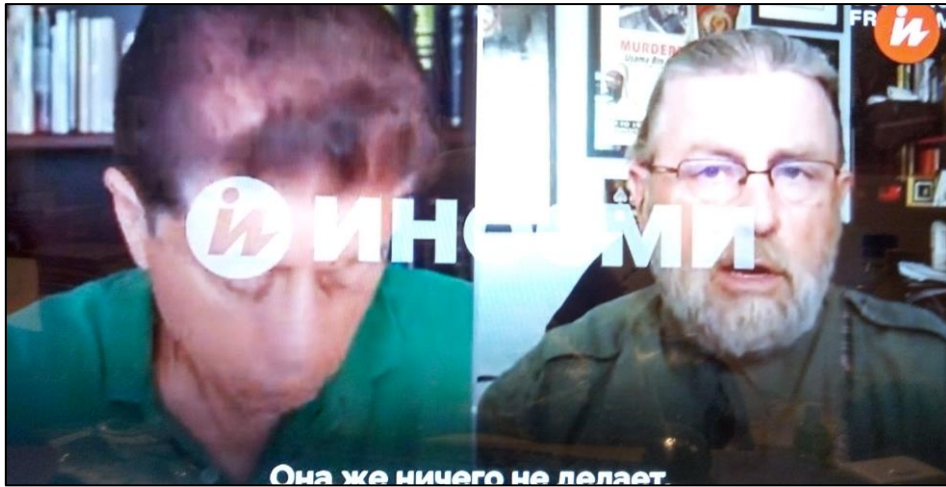


●ラリー・ジョンソンのウクライナによるモスクワ攻撃の見立て(2023年8月2日)

元 CIA アナリストのラリー・ジョンソン氏は、モスクワへの無人機攻撃は絶望の表れだと述べた。

「ウクライナは戦場でロシアに何も反対できないため、キエフ政権は民間人を攻撃している。」
と専門家は確信している。

<https://twitter.com/i/status/1686492457457111040>



●オスכול川の暴力的な横断に向けて:ロシア軍は 6 つの反撃を粉砕し、クピャンスクとクレミナを結ぶ道路を切断—ウクライナ側大きな損失(02/08/2023)

ロシア軍は、ゼレベツ川のロシアの橋頭堡に対する 6 回のウクライナの反撃を粉砕しながら、クピャンスクとクレミナを結ぶ道路を切断しました。



●クピャンスク-スヴァトヴォ軸のキエフにとってそれはすべて終わりました:彼らはヤンポルの集落を避難させます-ロシア軍はあらゆる方向に抵抗することなく前進します(2023年8月2日)

スヴァトヴォ-クピャンスク-ライマン軸のウクライナ軍の状況は急速に悪化しています。ロシア軍は深刻な抵抗なしにあらゆる方向に前進し続けており、それは彼らの攻撃がもはや止められないという最初の疑いを裏付けています。

ロシア軍はトヴェルドクリンボヴォを占領したが、ロシア国防省によると、第 15 機械化警備隊の部隊はナディヤの西、正面幅 3 km、深さ 2.7 km まで前進しました。

伝えられるところによると、ウクライナ人は、ロシア軍がクレミンナの西にあるウクライナの防衛を突破した場合に備えて、最後まで防衛のために地域を準備するために、民間人をヤンポルの入植地から追い出している。

これは、ロシア人が和解に到達するのは時間の問題であることを意味します。おそらく、ウクライナ人はもはやこの地域に十分な力を持っていません。

ロシア人は重要な戦術的成功を記録しており、攻撃作戦を実施する前線の唯一のセクターで戦略的勝利をさらに近づけています。



●ウクライナの子どものネオナチ教育(再送、2022年3月19日)

これの何処が可哀想なの

反露教育だよ。ネオナチ教育

<https://twitter.com/i/status/1505037949091520512>

